

平成27年度ホタテガイ採苗通報(第5報)

平成27年5月8日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880 FAX:0226-24-2561
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

- 唐桑砂子浜では、250ミクロン以上の大型（付着期）幼生が増加しており、唐桑地区の広田湾側では採苗袋の投入時期になってきたと思われます。
- 一方、気仙沼の岩井崎、本吉の蔵内、歌津の泊では、大型幼生の出現は少なく、まだ採苗袋の投入時期にはなっていないものと思われます。
- なお、今年の投入時期は昨年よりも早いと予想されますので、唐桑以外の地区においても、順次、採苗袋の投入準備等を始めて下さい。

《調査結果の概要》 調査日:5月7,8日

- 調査地点の表層水温は9.3~13.2℃、10m水温は7.2~7.8℃でした。
- ホタテガイ浮遊幼生は、唐桑砂子浜で大型（付着期）幼生が34~40個（前回16個）、中小型が433~897個（前回206個）と増加しました。また、試験採苗器にも4/27~5/7までの間に15個のホタテガイ幼生の付着が確認されました。
- 一方、気仙沼岩井崎、本吉蔵内、歌津泊では大型幼生が1~2個、中小型幼生が27~86個となっています。また本吉蔵内の試験採苗器への付着もありませんでした。
- なお、母貝の生殖腺指数は低下しており、産卵が行われているものと推測されます。

表 浮遊幼生調査結果

調査海域 (調査月日)	水温(°C) 表層/10m	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		ムササギガイ他 幼生数 個体/m ³	付着稚貝数 個体/袋 (投入日-回収日)
		250ミクロン以下 (小型~中型)	250ミクロン以上 (大型)		
唐桑砂子浜 (岸側) 5/7	11.1/7.8	897	34	51	15 (4/27-5/7)
唐桑砂子浜 (沖側) 5/7	12.0/7.5	433	40	31	
気仙沼岩井崎 5/7	13.2/7.7	41	1	2	
本吉蔵内 (岸側) 5/8	11.3/7.5	56	2	3	0 (5/1-5/8)
本吉蔵内 (沖側) 5/8	9.4/7.6	39	2	0	
歌津泊 (岸側) 5/8	9.4/7.2	86	1	13	
歌津泊 (沖側) 5/8	9.3/7.2	27	1	7	

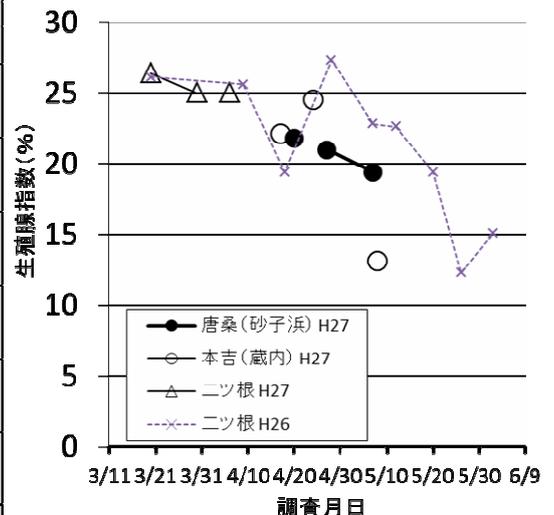


図 生殖腺指数の推移

県外情報

青森県・陸奥湾全域で幼生の付着は順調、付着数は平年よりかなり多くなる見込み。(5/8の情報)
 岩手県・唐丹湾で小型のラーバ、イガイのラーバが増加中(5/8の情報)

次の通報発行は5月12日頃の予定です。